



多摩辺

学 校 だ よ り

昭島市立多摩辺中学校

校 長 堀 田 典 子

令和7年 12月25日



かけがえのない日常へのありがとう

校 長 堀 田 典 子

今年も残りわずかとなりましたが、この年一年を振り返り、どのような年だったでしょうか。今年の世相を表す漢字は「熊」という報道がありましたが、私は、健康のありがたさを強く感じた一年だったので「健」です。体調を崩したり、ケガをしたりということが続き、当たり前だと思っていたことができない不便さを痛感したのです。

皆さんは、毎日学校に通い、授業を受け、友達と話し、部活動に励み、家に帰れば家族がいて食事をする。こうした日常は、あまりにも自然で、特別なことだとは思わないかもしれません。しかし、いざそれができなくなったらどうでしょう。例えば、家族。毎日一緒にいるからこそ、その存在の大切さを忘れがちです。食事を作ってくれる人、送り迎えをしてくれる人、何気ない会話をしてくれる人……。もしその支えがなくなったら、生活は大きく変わってしまうのではないのでしょうか。普段は当たり前を感じている家族の存在も、実はかけがえのないものなのです。だからこそ、私たちは「当たり前」に感謝する心を忘れてはいけません。健康であること、家族がそばにいること、友達や先生と過ごせること、これらは決して当たり前ではなく、ありがたいことなのです。

一年を締めくくる今だからこそ、改めて感謝の気持ちを込めて、家族に「ありがとう」と伝えること、友達に「一緒にいてくれて嬉しい」と思うこと、先生に「教えてくれてありがとう」と感じることを伝えてみてください。その小さな感謝の積み重ねが、皆さんの人間関係をより豊かにし、未来を温かいものにしてくれます。

新しい年も、健康であること、家族や友達と過ごせることに感謝しながら、一日一日を大切に過ごしてください。

【終業式講話より】